**地方公共団体の会計　課題レポート　（様式）**

分析対象の自治体名 「　　　　　」

比較する自治体名　 「　　　　　」

**主要な財政指標**

令和〇（20〇〇）年度　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：百万円・億円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 財務諸表 | 財政指標 | 意　　味 |  |  |
| 行政コスト計算書及び純資産変動計算書 | 行政収入  （財源） | 課税水準，サービス・コストを賄う財源  （経常収益＋財源（税収・国庫補助金等） |  |  |
| 行政費用 | 提供されたサービスのフルコスト  （経常費用） |  |  |
| 金融収支 | 地方債の支払利息等の純金融費用  （支払利息－受取利息・配当金） |  |  |
| 本年度差額 | サービスの受益と負担の関係  （△は現世代の受益が負担より大きい） |  |  |
| 貸借対照表 | 借入金  （地方債） | 財政の持続可能性（将来世代の負担）  （固定負債と流動負債の地方債の合計） |  |  |
| 純資産 | 資産と負債の差額及び収支差額の累積  財政の持続可能性，世代間負担の衡平性の指標 |  |  |
| 資金収支計算書（キャッシュ・フロー計算書） | 業務活動収支差額 | 経常的な行政サービスの収支  赤字の場合，赤字地方債の発行となり，負担の先送りとなる |  |  |
| 業務活動と投資活動の差額（キャッシュ・フロー） | 行政活動（サービス・社会資本整備）の現金収支差額が，赤字の場合，借入金の増加を意味する  （注）基金の積立を考慮する必要がある（基金積立を除いた収支） |  |  |

自治体間比較の財務指標（任意）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 指標 | |  |  |
| １ | 資産の構成比 | 事業用資産 | ％ | ％ |
| インフラ資産 | ％ | ％ |
| 基金 | ％ | ％ |
| ２ | 資産に対する負債の比率 | | ％ | ％ |
| ３ | 有形固定資産に対する負債（臨時財政対策債を控除）の比率 | | ％ | ％ |
| ４ | 地方債残高に対する支払利息の比率 | | ％ | ％ |
| ５ | 費用に対する収（税収等を含む・資本的補助金除く）の比率 | | ％ | ％ |
| ６ | 人口当たりの収入（税収等を含む） （円） | | 円 | 円 |
| 人口当たりの費用（円） | | 円 | 円 |
| 7 | 地方債対収入比率（地方債残高÷行政収入） | | 年 | 年 |
| 8 | 債務償還年数（地方債残高÷業務活動収支） | | 年 | 年 |

**分析の視点とコメント**

|  |
| --- |
| 1．自治体の概要（人口，位置，財政規模：行政収入，総資産，地方債など）。比較自治体の概要。   1. ストック状況。資産の金額・構成比，負債の金額・構成比，資産負債比率。   3．フローの状況。収入の特徴（地方税・地方交付税の金額・構成比），費用の特徴（社会保障関連費：補助費・移転費用の金額・構成比）  4．公共投資の状況（投資内容，金額，投資の財源（国庫支出金，地方債，基金取崩，一般財源）  5．人口当たりの収入・費用，本年度差額の黒字（赤字），業務活動収支差額の黒字（赤字）   1. 地方債の残高，償還能力。その他気になったことなど   7．財政の健全性，持続可能性についてコメント |